

ウエディングチャペル アンジェラ
「ウエディングプランナーが語る結婚式エピソード」



ウエディングチャペル アンジェラ

ウエディングプランナーが語る結婚式エピソード

目次

・ウエディングプランナー 倉田秋音 「十年愛」 P3

・ウエディングプランナー 櫻井ありさ 「サプライズの指輪」 P8
「い両親への想い」 P15
「紡がれるいのち」 P21

・ウエディングプランナー 関 清美 「想いのかたち」 P27

ウエディングプランナー

倉田秋音「十年愛」

三年前（2009年）の九月の話です。

新郎新婦のご友人の方から一通のメールが入り、結婚式をしないお二人へ挙式をプレゼントしたいという、ご相談がありました。

そのお二人は、結婚されて十年を迎えられ、お子様もいらっしやるとのこと。

両家のご両親の反対を押し切って結婚されたという事情があり、結婚式を今まで挙げられなかったそうです。

そして、そのご友人の方とお話をし、ご新郎様にも協力をして頂き、ご新婦様へのサプライズ挙式をすることになりました。

まず、ご新郎様がご新婦様に「写真撮りをするよ」と、お伝えしました。そしてアンジェラにお越し頂き、衣装を合わせて写真を撮りに行くという体で、スタジオで写真撮りをした後に四階のチャペルへお越し頂くという流れで挙式を行うことになりました。

会場には、お二人のご友人の方々が三十名程ご参列されました。そして間もなく、ご新婦様がチャペルへ来られ、挙式が始まりました。

お二人は、婚約指輪も結婚指輪もご購入されてなかったということで、今回ご新郎様がサプライズで、ご新婦様にダイヤの婚約指輪をプレゼントされるという場面がありました。

そして、小学生くらいになるお二人のお子様からの似顔絵と、お花のプレゼントを贈るという場面もあり、ご新郎様のご新婦様への愛情と、ご家族の心温まるシーンに、とても感動をした挙式でした。



ウエディングプランナー

櫻井ありさ

「サプライズの指輪」

ご新郎様からご新婦様へのサプライズ結婚式のお話です。

最初に、ご新郎様よりアンジェラのホームページからお問い合わせを頂きました。そして後日、ご新郎様にお越し頂き、なぜサプライズ結婚式をしようと思ったのかとお伺いしたところ、お二人には生後三ヶ月になる息子様がいらっしやるとのこと。

「子供が生まれたんですが、まだ結婚式を挙げていないので、彼女のためにサプライズ結婚式をしたい」と、おっしゃいました。

その後、会場をご覧頂き、プランの内容などのお話をしながら、どのようにサプライズを実行するか、ということを含め、お打ち合わせを致しました。

そして、家族写真を撮るといふことでアンジェラへお越し頂き、撮影を終えた後もう一度チャペルへご新婦様をご案内し挙式をスタートさせるといふ流れでいこう、ということをご新郎様と決めました。

当日、ご新婦様は家族写真を撮るつもりでアンジェラへお見えになりました。

ご新婦様がお見えになった後すぐに、ご新郎様へ「ではお話を
お願いします」と、一言お伝えしました。そして、ご新郎様から
ご新婦様へ「実は今日結婚式をあげるんだよ」と伝えていただき
ました。

ご新婦様は「えっ？」と、とても驚いた表情をされていました。

衣装合わせの際に、「ご新郎様からのサプライズはいかがで
したか？」とお聞きしたところ、

「今でもとっっても驚いています。子供も産んで、もうできないと
思っていました。ずっと結婚式を挙げたいと思っていたので、

とても嬉しいです」と、ご新婦様はおっしゃいました。

撮影が終わった後、挙式がスタートしました。さらに挙式の中で、ご新郎様からのサプライズで、ご用意していただいた記念の指輪を、ご新婦様の指へ。

ご新婦様はとても喜ばれ、目からぽろぽろと、大粒の涙がこぼれ落ちていました。

私は、お子様のベビーカーを揺らしながら見守っていたのですが、私も思わず感極まって涙が出てしまいました。

ご新郎様が、ご新婦様の事をととても愛され、そして心から大切に
されているということを感じた、とても素敵な結婚式でした。



「ご両親への想い」

ご入籍はされていましたが、ずっと結婚式をされていなかったお二人のお話です。

ご新婦様には結婚式に強い憧れがあったそうなのですが、ご予算などの関係で結婚式を挙げる事ができなかったそうです。

しかし、結婚式にずっと憧れていたということでアンジェラにご来館されました。お二人の今までのエピソードや、ご希望などを伺いながらプランなどをご提案し、これなら結婚式を挙げられそうだということ、ご新婦様の念願が叶い、結婚式をすることが決まりました。

なぜ結婚式をしたかったのかということをお伺いしますと、ウエディングドレスを着たかったというのもあるのですが、ご両親様に感謝の気持ちを伝えたいという希望があり、それを実現したい、という事でした。

お二人の間には二人のお子様がいる、自分も母親になって改めて両親の大切さを知ったというお話を伺い、会場見学の際にバージョンロードの意味のお話をさせて頂きながら、ご両親を交えた演出やベールダウンをご提案しました。

そうしましたら、意味と一緒にお伝えいたしましたので、ご新婦様もそこで感極まってしまう、お父様とバージンロードを歩いているシーンやお母様とのベールダウンのシーンを想像したら涙が出てきました、とのことでした。

当日はお父様とゆっくりバージンロードを歩かれ、お母様にもベールダウンのセレモニーにご参加いただきました。

お二人のお子様もいらっしやいましたが、ゲストの方にも
ご親族様の方にも、お子様をお持ちの方が多く和気藹々として
いて、とても素敵な結婚式でした。



「紡がれるいのち」

元々は、秋に結婚式を挙げる予定だったのですが、ご新婦様のお父様のご病気になってしまわれたため、四ヶ月早く結婚式を挙げられたお話です。

お父様はご病気のため、入院をされていました。結婚式当日はご参列いただけるとのことだったのですが、バージンロードと一緒に歩けるのかどうか、お父様のご病状を踏まえ、本番当日までわからない状況でした。

リハーサルが始まる際に、バージンロードを歩く練習をして

ただこうとご案内をしようとしたのですが、ご体調がすぐれないということでしたので、練習は断念されました。

本番になる直前、スタッフ全員で話し合いをしたのですが、その時、担当スタッフの一人が

「ほんの少しだけでも一緒にバージンロードを歩かせてあげたいので、全力でお手伝いをしたい」と言い、皆も全力でサポートしようということになりました。

そして、少しだけでも歩いて頂ける様、お父様をご新婦様のとなりにご案内をし、挙式がスタートしました。

お父様は車椅子の生活をされていたため、少しだけ歩いていただくだけでしたので、バージンロードの歩くお二人の後ろから車椅子について行き、いつでもお掛け頂けるように万全の態勢でのぞみました。

一歩一歩お進みいただいている姿が、とても感動的でした。この時だけでもいいから、時間が止まってほしいと思えるような、そんな素敵な結婚式でした。

バージンロードの半分ほどの距離をお父様にお付き添いをいただき、ご新郎様には早めに来ていただくということでお二人のセレモニーがスタートしました。

結婚式は無事に終わり、その後も、ご家族とにこやかにお話をされていました。

結婚式から数日経ったある日、ご新婦様のお父様がお亡くなりになったというご連絡がありました。涙が出そうになりましたが、お二人の間に新しい命が宿っているという報告もあり、命の繋がりとご家族の絆を感じた、とても感動的な結婚式でした。



ウエディングプランナー

関

清美

「想いのかたち」

最初にご来館されたのがご新郎様一人でした。

ご新婦様は保育士の仕事が忙しく、その日はご来館する事が出来ませんでした。

又、お二人にはお子さんもいらっしゃるとのこと、費用の面で式を挙げる事が今までできず、今回ようやく工面ができたので、ずっと挙げたかった結婚式を挙げることになった、とのことでした。

結婚式の中で一つくらいはサプライズをやりたいけど、なかなかいい案が思いつかない、とおっしゃっていましたが、挙式のみ

プランだったので、挙式中になにかプレゼントを渡すのはいかがですか？とご提案をいたしました。

最初は、新婦様へのプレゼントを花束にしようと考えられたようですが、それだと残らないのでプレストブーケのほうが良いという事になりました。

ご予算をお伺いし、それをお花屋さんにご相談したところ、プリザーブドを使ったカバン風なブーケを作って頂き、挙式の際にそれをご新婦様にプレゼントされました。

挙式できるだけでも喜んでいたご新婦様は、とても驚き、感動して大粒の涙を流しました。それを見たご新郎様も、もらい泣きをされていました。

心温まる、とても素敵な結婚式でした。



ウエディングチャペル アンジェラ

愛知県名古屋市千種区内山1-18-12

TEL : 052 - 731 - 2241

URL : <http://www.w-angela.com/>

出版 : BI - Style 株式会社 <http://bi-style.biz/>

ライター : 梨蘭 (Re:Drop)

発行人 : ツダシンヤ (45creative)